

第 9 回

熊本県議会

決算特別委員会会議記録

平成26年12月 2 日

(平成25年度決算)

(決算の認否・報告案)

開 会 中

場所 全 員 協 議 会 室

第9回 熊本県議会

決算特別委員会会議記録

平成26年12月2日(火曜日)

午後1時30分開議

午後1時40分閉会

本日の会議に付した事件

1 平成25年度一般会計、各特別会計、病院事業会計及び企業局3事業会計の決算の認否等について

第40号 平成25年度熊本県一般会計歳入歳出決算の認定について

第41号 平成25年度熊本県中小企業振興資金特別会計歳入歳出決算の認定について

第42号 平成25年度熊本県母子寡婦福祉資金特別会計歳入歳出決算の認定について

第43号 平成25年度熊本県収入証紙特別会計歳入歳出決算の認定について

第44号 平成25年度熊本県立高等学校実習資金特別会計歳入歳出決算の認定について

第45号 平成25年度熊本県港湾整備事業特別会計歳入歳出決算の認定について

第46号 平成25年度熊本県臨海工業用地造成事業特別会計歳入歳出決算の認定について

第47号 平成25年度熊本県用地先行取得事業特別会計歳入歳出決算の認定について

第48号 平成25年度熊本県育英資金等貸与特別会計歳入歳出決算の認定について

第49号 平成25年度熊本県林業改善資金特別会計歳入歳出決算の認定について

第50号 平成25年度熊本県沿岸漁業改善資金特別会計歳入歳出決算の認定につ

いて

第51号 平成25年度熊本県市町村振興資金貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定について

第52号 平成25年度熊本県流域下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について

第53号 平成25年度熊本県高度技術研究開発基盤整備事業等特別会計歳入歳出決算の認定について

第54号 平成25年度熊本県のチッソ株式会社に対する貸付けに係る県債償還等特別会計歳入歳出決算の認定について

第55号 平成25年度熊本県公債管理特別会計歳入歳出決算の認定について

第56号 平成25年度熊本県就農支援資金貸付特別会計歳入歳出決算の認定について

第57号 平成25年度熊本県病院事業会計決算の認定について

第58号 平成25年度熊本県電気事業会計資本剰余金の処分、中小水力発電開発改良積立金の目的外使用及び決算の認定について

第59号 平成25年度熊本県工業用水道事業会計資本剰余金の処分及び決算の認定について

第60号 平成25年度熊本県有料駐車場事業会計利益の処分及び決算の認定について

2 決算特別委員長報告について

出席委員(10人)

委員長 岩下 栄一

副委員長 田代 国広

委員 鬼海 洋一

委員 平野 みどり
 委員 堤 泰宏
 委員 溝口 幸治
 委員 内野 幸喜
 委員 緒方 勇二
 委員 九谷 高弘
 委員 橋口 海平

欠席委員(なし)
 委員外議員(なし)

説明のため出席した者

知事公室
 公室長 田嶋 徹
 秘書課長 大村 裕司

総務部
 部長 岡村 範明
 人事課長 青木 政俊
 首席審議員兼財政課長 福島 誠治

企画振興部
 部長 島崎 征夫
 首席審議員兼企画課長 小原 雅晶

健康福祉部
 部長 松葉 成正
 健康福祉政策課長 渡辺 克淑

環境生活部
 部長 谷崎 淳一
 環境政策課長 正木 祐輔

商工観光労働部
 部長 真崎 伸一
 総括審議員兼
 政策審議監兼商工政策課長 高口 義幸

農林水産部
 部長 梅本 茂
 首席審議員兼
 農林水産政策課長 田中 純二

土木部
 部長 猿渡 慶一
 監理課長 成富 守

出納局
 会計管理者兼出納局長 伊藤 敏明

企業局
 局長 古里 政信
 次長兼総務経営課長 五嶋 道也

病院局
 病院事業管理者 河野 靖
 総務経営課長 林田 浩稔

教育委員会
 教育長 田崎 龍一
 首席審議員兼教育政策課長 能登 哲也

警察本部
 本部長 田中 勝也
 参事官兼会計課長 甲斐 利美

人事委員会事務局
 局長 田中 伸也
 首席審議員兼総務課長 吉富 寛

労働委員会事務局
 局長 白濱 良一
 審査調整課長 橋本 博之

議会事務局
 局長 佐藤 伸之
 次長兼総務課長 後藤 泰之

出納局職員出席者
 首席審議員兼会計課長 福島 裕

監査委員・同事務局職員出席者
 監査委員 松見 辰彦
 局長 牧野 俊彦
 監査監 草野 武夫
 監査監 千羽 一樹

事務局職員出席者
 議事課主幹 左座 守
 議事課参事 小池 二郎

午後1時30分開議
 ○岩下栄一委員長 それでは、第9回決算特別委員会を開会したいと思います。
 なお、私、ちょっと健康を害して、3回決算委員会を欠席させていただきまして、田代

副委員長を初め委員各位に大変御迷惑をかけたことをおわび申し上げます。

本日は、本委員会に付託されました各決算関係議案の採決と閉会日に行う委員長報告について、御審議をお願いいたします。

早速議案の採決に入りますが、企業局関係議案のうち、議案第58号から第60号までについては、決算認定とあわせて、地方公営企業法第32条第2項及び第3項の規定に基づく利益の処分及び資本剰余金の処分について並びに同法施行令第24条第2項の規定に基づく積立金の目的外使用について、それぞれ議決を求める内容となっておりますので、そのほかの議案と区分してお諮りいたします。

それではまず、議案第40号から第57号までについて一括して採決をしたいと思いますが、御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○岩下栄一委員長 異議なしと認めます。

議案第40号外17件について、原案のとおり認定することに御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○岩下栄一委員長 ありがとうございます。異議なしと認めます。よって、議案第40号外17件については、原案のとおり認定することに決定いたしました。

次に、議案第58号から第60号までについて一括して採決したいと思います。御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○岩下栄一委員長 御異議なしと認め、一括して採決いたします。

議案第58号外2件について、原案のとおり可決及び認定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○岩下栄一委員長 御異議なしと認めます。よって、議案第58号外2件については、原案のとおり可決及び認定することに決定いたしました。

次に、委員長報告についてお諮りいたします。

ただいまから、委員長報告(案)を配付させます。

（資料配付）

○岩下栄一委員長 まず、章立てにつきましては、前回の委員会でお諮りしましたとおりでございます。

「第1 審査方針」は、第2回委員会で御了承いただいた内容を記載しております。

また、「第2 決算の概要」では、各会計の決算概要を簡単に記載しております。

「第3 歳入確保と予算執行」、「第4 施策推進上改善または検討を要する事項等」については、前回の委員会で御了承いただいた内容を記載しております。

「第5 結論」につきましては、本日の採決結果に沿った内容となっております。

以上のような内容であります。委員長報告はこの案のとおり行うことといたしますが、よろしいでしょうか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○岩下栄一委員長 それでは、そのように取り計らいます。

また、軽微な字句の修正等がある場合は、一任をいただければ幸いです。よろしゅうございますか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○岩下栄一委員長 それでは、本委員会審議を全て終了いたしました。御苦労さまでした。

ここで、執行部を代表して、伊藤会計管理者に御挨拶をお願いいたします。

それでは、会計管理者からお願いいたします。

○伊藤会計管理者 執行部を代表いたします。一言お礼を申し上げます。

平成25年度決算の認定につきましては、去る9月の定例県議会に御提案申し上げて以

来、当委員会において、9回にわたる御審議の上、本日、一般会計、特別会計及び公営企業会計の決算につきまして、可決及び認定との御決定をいただき、まことにありがとうございます。

この間、岩下委員長、田代副委員長を初め委員の皆様方におかれましては、御多忙の中にもかかわらず、熱心な御審議をいただきまして、厚く御礼申し上げます。

委員長報告では、「施策推進上改善または検討を要する事項等」の中で、共通事項として1項目、各部局別に15項目、計16項目につきまして御指摘をいただきました。また、各部局の審議の過程で種々、御指摘、御指導をいただいたところでございます。

私どもといたしましては、これらの御指摘、御指導のありました事柄に十分留意して、適切な予算の執行を図り、効率的、効果的な行財政運営に努めてまいり所存でございます。

委員の皆様方におかれましては、今後ともよろしく御指導、御支援を賜りますようお願い申し上げます、お礼の言葉とさせていただきます。

ありがとうございました。

○岩下栄一委員長 ありがとうございます。

それでは、閉会に当たりまして、私から一言御挨拶を申し上げます。

ちょっと足を痛めておりますので、お許しを得て着座のまま御挨拶を申し上げます。

本日まで、9回にわたり決算特別委員会を開催してまいりましたが、委員の皆様には、終始熱心に御審議いただき、また、執行部においても、懇切な説明により審議に御協力いただきまして、厚く御礼申し上げます。

県財政は、これまでの財政健全化の取り組みにより、改善の兆しが見られるようになりました。しかしながら、御案内のとおり、国

の地方財政対策や景気の動向に左右されるところが大きく、今後も、危機意識を持って臨まなければならない状況であると思います。

このような中で、歳入・歳出予算の状況を中心に、平成25年度の各会計の決算状況を審査してまいりましたが、委員長報告でも述べてありますように、従来と同様、収入未済や多額の不用額を出している事業が多々見受けられますので、多くの委員の御指摘がございました。

また、事業によっては、一層の充実や内容の検討を求める意見、要望が多数出されました。

執行部におかれましては、委員長報告に取り上げなかった意見も含めて、早急な検討をお願いしたいと思いますが、加えて、職員一人一人が公金を扱っていることの重要性を十分再認識し、厳しい財政状況の中で、これまで以上に適時、適切な事務の遂行に努めていただきますように、心よりお願いいたします。

最後に、御協力いただきました皆様に改めて感謝を申し上げ、簡単ではございますが、閉会に当たっての御挨拶といたします。

それでは、これをもって第9回決算特別委員会を閉会いたします。

御苦労さまでした。

午後1時40分閉会

熊本県議会委員会条例第29条の規定によりここに署名する

決算特別委員会委員長